

第3学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
よく聞いて、じこしょうかい	1	教えて、あなたのこと 1時間(話・聞①) ◎話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる。(思・判・表A(1)エ) ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ■インタビューして、紹介する。 ☆友情、信頼、相互理解の態度を養う題材(道徳)	【知・技】相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(1)イ)1	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えている。(A(1)エ)	【態】積極的に相手を見て話したり聞いたりし、学習課題に沿って、自己紹介をしようとしている。
どきん	1	どきん 1時間(読①) ◎文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ■詩を楽しんで音読する。	【知・技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク)	【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)	【態】積極的に文章全体の構成や内容の大体を意識し、学習課題に沿って楽しんで詩を音読しようとしている。
わたしのさいこうの一日 つづけてみよう	1	わたしのさいこうの一日 つづけてみよう 1時間(書①) ○相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。(知・技(1)オ) ■想像を広げて架空の日記を書く。	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っている。(1)オ)	【思・判・表】 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	【態】経験したことや想像したことなどから書くことを進んで選び、学習課題に沿って架空の日記を書こうとしている。
春風をたどって	8	春風をたどって 8時間(読⑧) ◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ■読んで想像したことを伝え合う。 ☆自然のすばらしさや不思議さを感じ取り、自然や動植物を大切にすることを育てる題材(道徳)	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ) ・文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク)	【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ)	【態】進んで、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って想像したことを伝え合おうとしている。
図書館たんていだん	2	図書館たんていだん 1時間(知・技①) ◎読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ)	【知・技】読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ)		【態】学習課題に沿って、図書館利用に関わることを進んで知ろうとしている。
国語辞典を使おう	2	国語辞典を使おう 2時間(知・技②) ◎辞書の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ☆まとめ活動などの漢字の確かめ(総合的な学習の時間など)	【知・技】 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ) ・辞書の使い方を理解し使っている。(2)イ)		【態】学習課題に沿って、進んで辞書の使い方を理解し使おうとしている。

第3学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字の広場①	2	漢字の広場① 2時間(書②) ◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことをもとに文章を書く。	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)	【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	【態】積極的に第2学年までに学習した漢字を確かめ、今までの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
春のくらし	2	春のくらし 2時間(書②) ◎語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■春を感じたことについて、文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)	【知・技】語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)	【思・判・表】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】積極的に語句の量を増やし、学習課題に沿って、その季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
漢字の音と訓	2	漢字の音と訓 2時間(知・技②) ◎第3学年までに配当されている漢字を読むことができる。(知・技(1)エ)	【知・技】第3学年までに配当されている漢字を読んでいる。(1)エ)		【態】音までの学習をいかして、進んで漢字の音と訓という考え方に関心をもち、よりよく漢字を学ぼうとしている。
もっと知りたい、友だちのこと [コラム]きちんとつたえるために	6	もっと知りたい、友だちのこと 【コラム】きちんとつたえるために 6時間(話・聞⑥) ◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話することができる。(知・技(1)イ) ◎必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。(思・判・表A(1)エ) ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ■知らせたいことを話したり、知りたいことを質問したりする。 ☆友達の新たな一面やよさを知る活動(特別活動、道徳)	【知・技】相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(1)イ)	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっていく。(A(1)エ)	【態】粘り強く話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、学習の見通しをもって話したり、質問したりしようとしている。
漢字の広場②	2	漢字の広場② 2時間(書②) ◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことをもとに文章を書く。	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)	【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	【態】積極的に第2学年までに学習した漢字を確かめ、今までの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
文様 こまを楽しむ	8	文様 こまを楽しむ 【じょうほう】全体と中心 8時間(知・技①、読⑦) ◎全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)ア) ○段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ○目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ) ■説明する文章を読み、感想を伝え合う。 ☆伝統や文化を知り、歴史を愛する題材(道徳)	【知・技】 ・段落の役割について理解している。(1)カ) ・全体と中心など情報と情報との関係について理解している。(2)ア)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけていく。(C(1)ウ)	【態】進んで段落相互の関係に着目しながら内容を捉え、学習課題に沿って説明する文章を読んだ感想を伝え合おうとしている。

第3学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
気持ちをこめて、「来てください」	4	気持ちをこめて、「来てください」 4時間(書④) ◎丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。(知・技(1)キ) ◎間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ■行事を案内する手紙を書く。 ☆時と場に応じた適切な手紙を書く活動(社会、総合的な学習の時間)	【知・技】丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。(1)キ)	【思・判・表】 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくって文章の構成を考えている。(B(1)イ) ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	【態】相手や目的を意識して、伝えたいことを進んで明確にし、学習課題に沿って、丁寧な言葉を使って行事を案内する手紙を書こうとしている。
漢字の広場③	2	漢字の広場③ 2時間(書②) ◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことをもとに文章を書く。	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)	【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	【態】積極的に第2学年までに学習した漢字を確かめ、今までの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
まいごのかぎ	6	まいごのかぎ 6時間(読⑥) ◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ■物語を読んで、好きな場面について話し合う。	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ)	【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ)	【態】登場人物の気持ちの変化について、進んで場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って物語の好きな場面について話し合おうとしている。
俳句を楽しもう	1	俳句を楽しもう 1時間(知・技①) ◎易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ■俳句を音読する。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳) ☆五音と七音を組み合わせた詩などを探す活動(図書館活用)	【知・技】易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア)		【態】進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って俳句を音読したり暗唱したりしようとしている。
こそあど言葉を使いこなそう	2	こそあど言葉を使いこなそう 2時間(知・技②) ◎指示する語句の役割について理解することができる。(知・技(1)カ)	【知・技】指示する語句の役割について理解している。(1)カ)		【態】積極的に指示する語句の役割について理解し、学習課題に沿って使おうとしている。
【じょうほう】引用するとき	3	【じょうほう】引用するとき 3時間(知・技①、書②) ◎引用のしかたや出典の示し方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ・自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■本などから調べたことを書き留め、引用して文章を書く。 ☆調べたことを文章にまとめる活動(社会など)	【知・技】引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。(2)イ)	【思・判・表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	【態】積極的に引用のしかたや出典の示し方を理解し使い、学習課題に沿って本などから調べたことを引用して文章を書こうとしている。

第3学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
仕事のくふう、見つけたよ	10	仕事のくふう、見つけたよ 【コラム】符号など 10時間(書⑩) ◎相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ○改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つことができる。(知・技(1)ウ) ○段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■調べたことを報告する文章を書く。 ☆調べたいことを決めて、調査を行い、報告する文章にまとめる活動(社会、総合的な学習の時間) ☆調べる仕事についての本を探す活動(図書館活用) ☆見つけた工夫の撮影(ICT活用)	【知・技】 ・改行のしかたを理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打っている。(1)ウ) ・段落の役割について理解している。(1)カ)	【思・判・表】 ・「書くこと」において、相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	【態】進んで相手や目的を意識して書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって調べたことを報告する文章を書こうとしている。
夏のくらし	2	夏のくらし 2時間(書②) ◎語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■夏を感じたことについて文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳) ☆夏を感じたものの撮影(ICT活用)	【知・技】語句の量を増し、文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。(1)オ)	【思・判・表】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
本で知ったことをクイズにしよう)	5	本で知ったことをクイズにしよう 鳥になったきょうりゅうの話 5時間(読⑤) ◎幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ■図鑑や科学読み物を読んで、クイズを出し合う。 ☆本を選んで読む活動(図書館活用)	【知・技】幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ)	【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)	【態】進んで幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って本で知ったことをクイズにしようとしている。
わたしと小鳥とすずと	2	わたしと小鳥とすずと 夕日がせなかをおしてくる 2時間(読②) ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■詩を読んで、思ったことや感じたことを話し合う。	【知・技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク)	【思・判・表】「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ)	【態】進んで文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読し、学習課題に沿って詩を読んで思ったことや感じたことを話し合おうとしている。
こんな係がクラスにほしい	3	こんな係がクラスにほしい 3時間(話・聞③) ◎考えとそれを支える理由や事例について理解することができる。(知・技(2)ア) ◎目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりすることができる。(思・判・表A(1)ア) ■グループで話し合い、考えを整理してまとめる。 ☆係活動における話し合い(特別活動)	【知・技】考えとそれを支える理由や事例について理解している。(2)ア)	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりしている。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ)	【態】進んで互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめ、学習の見通しをもってグループで話し合い、考えを整理してまとめようとしている。

第3学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
。ポスターを読もう	2	ポスターを読もう 2時間(読②) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ○比較や分類のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ○目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ) ■ポスターを読み比べて、考えたことを伝え合う	【知・技】比較や分類のしかたを理解し使っている。(2)イ)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	【態】文章を読んで理解したことに基づいて、進んで感想や考えをもち、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
書くことを考えるときは	2	書くことを考えるときは 2時間(書②) ◎比較や分類のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■夏休みの思い出を書く。	【知・技】比較や分類のしかたを理解し使っている。(2)イ)	【思・判・表】「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】粘り強く集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にし、学習課題に沿って夏休みの思い出を書こうとしている。
漢字の組み立て	3	漢字の組み立て 3時間(知・技③) ◎漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解することができる。(知・技(3)ウ)	【知・技】漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。(3)ウ)		【態】漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて粘り強く理解し、学習課題に沿って漢字の構成を捉えようとしている。
ローマ字	4	4時間(知・技④) ◎日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くことができる。(知・技(1)ウ) ☆ローマ字入力(ICT活用)	【知・技】日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。(1)ウ)		【態】進んでローマ字で表記されたものを読み、学習課題に沿ってローマ字で書いたり入力したりしようとしている。
ちいちゃんのかげおくり	10	ちいちゃんのかげおくり 10時間(読⑩) ◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■物語を読み、感想をまとめる。 ☆戦争や平和について考え、平和を願う心を養う題材(道徳)	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	【態】文章を読んで理解したことに基づいて、進んで感想や考えをもち、学習課題に沿って物語を読んだ感想をまとめようとしている。
修飾語を使って書こう	2	修飾語を使って書こう 2時間(知・技②) ◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解することができる。(知・技(1)カ) ○言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。(知・技(1)オ)	【知・技】 ・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。(1)オ) ・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解している。(1)カ)		【態】粘り強く修飾と被修飾との関係について理解し、学習課題に沿って修飾語を使って文を書こうとしている。
秋のくらし	2	秋のくらし 2時間(書②) ◎語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■秋を感じたことについて文章を書く。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳) ☆秋を感じたものの撮影(ICT活用)	【知・技】語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ)	【思・判・表】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。

第3学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
おすすめの一さつを決めよう	8	おすすめの一さつを決めよう 8時間(話・聞⑧) ◎比較や分類のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。(思・判・表A(1)オ) ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。(思・判・表A(1)ア) ■グループで役割を決めて話し合い、考えをまとめる。 ☆インタビューによって調査する活動(社会、総合的な学習の時間) ☆おすすめの本を選ぶ活動(図書館活用)	【知・技】比較や分類のしかたを理解し使っている。(2)イ)	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。(A(1)オ)	【態】粘り強く司会などの役割を果たしながら話し合い、学習の見通しをもって考えをまとめようとしている。
すがたをかえる大豆	12	すがたをかえる大豆 食べ物のひみつを教えます 12時間(書⑥、読⑥) ◎比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけることができる。(思・判・表C(1)ウ) ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ■筆者の説明の工夫を見つけ、食材について説明する文章を書く。 ☆食育に関わる題材(総合的な学習の時間) ☆食べ物について書かれた本を探す活動(図書館活用)	【知・技】 ・比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使っている。(2)イ) ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ)	【思・判・表】 ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ) ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。(C(1)ウ)	【態】目的を意識して、粘り強く中心となる語や文を見つけたり、それらを明確にして文章の構成を考えたりし、学習の見通しをもって筆者の説明の工夫をいかした文章を書こうとしている。
ことわざ・故事成語	4	ことわざ・故事成語 4時間(知・技②、書②) ◎長い間使われてきたことわざや故事成語の意味を知り、使うことができる。(知・技(3)イ) ○目的を意識して、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■ことわざの意味を調べ、ことわざ辞典を作る。	【知・技】長い間使われてきたことわざや故事成語の意味を知り、使っている。(3)イ)	【思・判・表】「書くこと」において、目的を意識して、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】積極的にことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使い、学習課題に沿ってことわざ辞典を作ろうとしている。
漢字の意味	2	漢字の意味 2時間(知・技②) ◎漢字と仮名を用いた表記を理解して文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)ウ)	【知・技】漢字と仮名を用いた表記を理解して文や文章の中で使っている。(1)ウ)		【態】積極的に漢字と仮名を用いた表記を理解し、これまでの学習をいかして文や文章の中で使おうとしている。
短歌を楽しもう	1	短歌を楽しもう 1時間(知・技①) ◎易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。(知・技(3)ア) ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳)	【知・技】易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア)		【態】進んで言葉の響きやリズムに親しみ、学習課題に沿って短歌を音読したり暗唱したりしようとしている。
漢字の広場④	2	漢字の広場④ 2時間(書②) ◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)	【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。

第3学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
三年とうげ	6	三年とうげ 6時間(読⑥) ◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。(思・判・表C(1)イ) ○引用のしかたを理解し使うことができる。(知・技(2)イ) ○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。(知・技(3)オ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ■民話や昔話を紹介する。 ☆世界の文化に対する興味・関心を促し、その理解を図る題材(道徳、総合的な学習の時間) ☆民話や昔話を探す活動(図書館活用)	【知・技】 ・引用のしかたを理解使っている。(2)イ) ・幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(3)オ)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	【態】登場人物の行動や気持ちなどについて、積極的に叙述を基に捉え、学習課題に沿って民話や昔話を紹介しようとしている。
わたしの町のよいところ	10	わたしの町のよいところ 10時間(書⑩) ◎書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ) ○考えとそれを支える理由について理解することができる。(知・技(2)ア) ■町のよさを紹介する文章を書く。 ☆身近な地域を観察・調査する題材(社会) ☆文章に適切な写真の撮影(ICT活用)	【知・技】考えとそれを支える理由について理解している。(2)ア)	【思・判・表】「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)オ)	【態】積極的に文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つければ、学習課題に沿って町のよさを紹介する文章を書こうとしている。
冬のくらし	2	冬のくらし 2時間(書②) ◎語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■冬を感じたことについて文章に書く。 ☆我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を養う題材(道徳) ☆冬を感じたものの撮影(ICT活用)	【知・技】語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。(1)オ)	【思・判・表】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】積極的に語句の量を増し、話や文章の中で使い、学習課題に沿ってその季節らしさを表現した文章を書こうとしている。
詩のくふうを楽しもう	4	詩のくふうを楽しもう 4時間(書②、読②) ○文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。(知・技(1)ク) ○文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができる。(思・判・表B(1)オ) ○文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ■詩を創作する。 ☆詩を探す活動(図書館活用)	【知・技】文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。(1)ク)	【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。(B(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ)	【態】進んで文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読し、学習課題に沿って詩を創作しようとしている。
四まいの絵を使って	2	四まいの絵を使って 2時間(書②) ◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。(思・判・表B(1)イ) ○段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ■考えた物語の流れを伝え合う。	【知・技】段落の役割について理解している。(1)カ)	【思・判・表】「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。(B(1)イ)	【態】書く内容の中心を明確にし、文章の構成を考えることに粘り強く取り組み、学習課題に沿って物語の流れを書こうとしている。

第3学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
カンジーはかせの音訓かるた	2	カンジーはかせの音訓かるた 2時間(知・技②) ◎第3学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ)	【知・技】第3学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)		【態】進んで第3学年までに配当されている漢字を読み、学習課題に沿って漢字の音訓を使った文を書こうとしている。
漢字の広場⑤	2	漢字の広場⑤ 2時間(書②) ◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文を書く。	【知・技】第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ)	【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。(B(1)エ)	【態】積極的に第2学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作ろうとしている。
ありの行列	7	ありの行列 7時間(読⑦) ◎指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解することができる。(知・技(1)カ) ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。(思・判・表C(1)オ) ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ○言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解することができる。(知・技(1)オ) ■文章を読んで考えたことを伝え合う。 ☆生き物の生態や不思議さに目を向けさせる題材(理科)	【知・技】 ・言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解している。(1)オ) ・指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。(1)カ)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。(C(1)オ) ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。(C(1)カ)	【態】進んで文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習課題に沿って、考えたことを伝え合おうとしている。
つたわる言葉で表そう	5	5時間(知・技②、書③) ◎言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■相手に伝わる文章を書く。 ☆体験したことを報告する文章にまとめる活動(社会、総合的な学習の時間)	【知・技】 ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。(1)ア) ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語彙を豊かにしている。(1)オ)	【思・判・表】「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	【態】言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに積極的に気づき、学習の見直しをもって相手に伝わる文章を書こうとしている。
	8	たから島のぼうけん 8時間(書⑧) ◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ◎書き表し方を工夫することができる。(思・判・表B(1)ウ) ■物語を創作する。	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1)オ) 【思・判・表】「書くこと」において、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) 【態】進んで様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにし、学習の見		

第3学年 国語

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
お気に入りの場所、教えます	8	お気に入りの場所、教えます 8時間(話・聞⑧) ◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。(知・技(1)イ) ◎相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えることができる。(思・判・表A(1)イ) ○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報との関係について理解することができる。(知・技(2)ア) ○話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。(思・判・表A(1)ウ) ■お気に入りの場所を発表する。 ☆発表に適切な写真の撮影(ICT活用) ☆発表の練習を撮影し見返すことでよりよくする活動(ICT活用)	【知・技】 ・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。(1)イ) ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心などの情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。(A(1)ウ) 【態】進んで話の中心が明確になるように話の構成を考え、学習課題に沿って		
モチモチの木	12	モチモチの木 12時間(読⑫) ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。(思・判・表C(1)カ) ○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知・技(1)オ) ○登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思・判・表C(1)エ) ■登場人物について考えたことをまとめ、伝え合う。 ☆他者への愛情をもち、勇気をもって実行する姿勢を育てる題材(道徳)	【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。(1)オ) あることに気づいている。(C(1)カ)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。(C(1)エ) ・「読むこと」において、文章を読んだ感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違い	【態】積極的に文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
漢字の広場⑥	2	漢字の広場⑥ 2時間(書②) ◎第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。(知・技(1)エ) ○修飾と被修飾との関係について理解することができる。(知・技(1)カ) ・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。(思・判・表B(1)エ) ■絵を見て想像したことを基に文章を書く。	【知・技】 ・第2学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)エ) ・修飾と被修飾との関係について理解している。(1)カ)	【思・判・表】「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。(B(1)エ) ろうとしている。	【態】積極的に第2学年までに学習した漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を適切に使った文を作
三年生をふり返って	1	三年生をふり返って 1時間(書①) ○言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(知・技(1)ア) ○経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。(思・判・表B(1)ア) ■1年間の国語科での学びを振り返って、書く。 ☆一人一人のキャリア形成と自己実現を育む題材(特別活動)	【知・技】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。(1)ア)	【思・判・表】「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】進んで経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にし、学習課題に沿って1年間の振り返りを書くようとしている。

第3学年 国語(書写)

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書写のやくそく		書写のやくそく〔教科書 巻頭〕 ◎書写学習の前に、机上の整理、書くための準備運動、姿勢・持ち方を確かめる一連の流れを行うことができる。〔知技(3)エ(ウ)〕			【態】進んで(①)書写学習の前の確認事項を理解し(③)、学習課題に沿って(②)机上の整理、書くための準備運動、姿勢・持ち方を確かめる一連の流れを実践しようとしている(④)。
毛筆のひみつ		毛筆のひみつ〔教科書P2-3〕 ◎毛筆の特徴や、毛筆を使用した学習の意義について理解し、書写学習への意欲を高めることができる。〔知技(3)エ(ウ)〕	【知】毛筆の特徴や、毛筆を使用した学習の意義を理解している。	【思】毛筆の特徴を確かめている。	【態】進んで(①)毛筆の特徴を理解し(③)、学習の見通しをもって(②)毛筆で学習する意義を話し合おうとしている(④)。
用具のじゅんぴ		用具のじゅんぴ〔教科書P4-5〕 ◎毛筆用具の準備のしかたを理解することができる。〔知技(3)エ(ウ)〕	【知】毛筆用具の準備のしかたを理解している。	【思】毛筆用具の準備のしかたを確かめている。	【態】進んで(①)毛筆用具の準備のしかたを理解し(③)、学習の見通しをもって(②)適切に扱おうとしている(④)。
書くときのしせい／筆の持ち方		書くときのしせい／筆の持ち方〔教科書P6-7〕 ◎毛筆で書くときの姿勢や筆の持ち方を理解して、姿勢や持ち方を正しくすることができる。〔知技(3)エ(ウ)〕	【知】毛筆で書くときの姿勢や筆の持ち方を正しくしている。	【思】正しい姿勢や筆の持ち方を確かめている。	【態】進んで(①)毛筆で書くときの姿勢や筆の持ち方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)姿勢や持ち方を正しくしようとしている(④)。
えんぴつとくらべよう／用具のかたづけ	1	えんぴつとくらべよう／用具のかたづけ〔教科書P8-9〕 ◎毛筆の持ち方を理解して、正しい持ち方で書くことができる。〔知技(3)エ(ウ)〕 ◎毛筆用具の片づけ方を理解することができる。〔知技(3)エ(ウ)〕	【知】筆の持ち方や腕の動かし方、毛筆用具の片づけ方を理解している。	【思】筆の正しい持ち方や腕の動かし方、毛筆用具の片づけ方を確かめている。	【態】進んで(①)筆の持ち方や腕の動かし方、毛筆用具の片づけ方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)正しい持ち方で腕を動かし、毛筆用具を適切に扱おうとしている(④)。
学習の進め方		学習の進め方〔教科書P10-11〕 ◎学習の進め方を理解することができる。〔知技(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)〕	【知】学習の進め方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを理解している。 【思】学習の進め方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを確かめている。 【態】進んで(①)書写学習の進め方やタブレット端末を使う姿勢・活用のしかたを理解し(③)、学習課題に沿って(②)学習を進めたりタブレット端末を活用したりしようとしている(④)。		
ほ先の向きとじくのかたむき／空書き		ほ先の向きとじくのかたむき／空書き〔教科書P12-13〕 ◎毛筆で書くときの穂先の向きや軸の傾き、空書きのしかたを理解することができる。〔知技(3)エ(ウ)〕	【知】毛筆で書くときの穂先の向きや軸の傾き、空書きのしかたを理解している。	【思】毛筆で書くときの穂先の向きや軸の傾き、空書きのしかたを確かめている。	【態】進んで(①)毛筆で書くときの穂先の向きや軸の傾き、空書きのしかたを理解し(③)、学習課題に沿って(②)空書きをしたり、正しい姿勢と持ち方に気をつけて任意の線を書いたりしようとしている(④)。
点画のしゅるい	1	点画のしゅるい〔教科書P14-15〕 ◎点画の種類を理解することができる。〔知技(3)ウ・エ(ウ)〕	【知】点画の種類を理解している。	【思】点画の種類を、形の特徴と名称とを関連づけて確かめている。	【態】進んで(①)点画の持ち方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)点画を指でなぞり、その名称を書こうとしている(④)。
「横画」	2	「横画」〔教科書P16-17〕 ◎毛筆を使用して、横画の書き方への理解を深めて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)〕	【知】毛筆を使用して、横画の書き方への理解を深めて書いている。	【思】毛筆で「二」を書写するなかで、横画の書き方を確かめている。	【態】進んで(①)横画の書き方への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)横画をもつ漢字を書こうとしている(④)。
「たて画」	2	「たて画」〔教科書P18-19〕 ◎毛筆を使用して、縦画の書き方への理解を深めて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)〕	【知】毛筆を使用して、縦画の書き方への理解を深めて書いている。	【思】毛筆で「土」を書写するなかで、縦画の書き方を確かめている。	【態】進んで(①)縦画の書き方への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)縦画をもつ漢字を書こうとしている(④)。

第3学年 国語(書写)

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「おれ」	2	「おれ」〔教科書P20-21〕 ◎毛筆を使用して、折れの書き方への理解を深めて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)〕	【知】毛筆を使用して、折れの書き方への理解を深めて書いている。	【思】毛筆で「日」を書写するなかで、折れの書き方を確かめている。	【態】進んで(①)折れの書き方への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)折れをもつ漢字を書こうとしている(④)。
小筆で書いてみよう	1	小筆で書いてみよう 〔教科書P22-23〕 ◎小筆の使い方を理解して、正しい持ち方で書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ウ)〕	【知】小筆の使い方を理解して、正しい持ち方で書こうとしている。	【思】小筆の正しい持ち方を確かめている。	【態】積極的に(①)小筆の使い方を理解し(③)、学習の見通しをもって(②)正しい持ち方で書こうとしている(④)。
書写広げたい①〈国語〉	1	書写広げたい①〈国語〉 〔教科書P24-25〕 ◎手紙の書き方を理解し、今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕 ○書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくって文章の構成を考えることができる。〔B(1)イ・ウ・エ、(2)イ〕	【知】手紙の書き方を理解し、今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】案内の手紙を書く活動のなかで、手紙の書き方を確かめたり、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えたりしている。	【態】進んで(①)手紙の書き方を理解し(③)、今までに学習を生かしながら(②)案内の手紙を書こうとしている(④)。
書写広げたい②〈国語〉	1	書写広げたい②〈国語〉 〔教科書P26-27〕 ◎横書きの書き方に注意して書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕	【知】横書きの書き方に注意して書いている。	【思】横書きの例文を書くなかで、横書きの2種類の書き方を確かめている。	【態】積極的に(①)横書きの書き方や数字・ローマ字の書き方を確かめ(③)、学習課題に沿って(②)例文を書こうとしている(④)。
力の入れ方	1	力の入れ方〔教科書P28〕 ◎毛筆を使用して、筆圧に注意して書くことができる。〔知技(3)エ(ウ)〕	【知】毛筆を使用して、筆圧に注意して書いている。	【思】筆圧によって点の大きさや線の太さが変わることを確かめている。	【態】積極的に(①)筆圧に注意して(③)、学習課題に沿って(②)いろいろな太さの横画を書こうとしている(④)。
「左はらい」「右はらい」	2	「左はらい」「右はらい」 〔教科書P29-31〕 ◎毛筆を使用して、左払い・右払いの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)〕	【知】毛筆を使用して、左払い・右払いの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。	【思】毛筆で「木」を書写するなかで、書き方を確かめている。	【態】進んで(①)左払い・右払いの書き方への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)左払い・右払いをもつ漢字を書こうとしている(④)。
「点」「はね」	2	「点」「はね」 〔教科書P32-33〕 ◎毛筆を使用して、点・はねの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)〕	【知】毛筆を使用して、点・はねの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。	【思】毛筆で「小」を書写するなかで、点・はねの書き方を確かめている。	【態】進んで(①)点・はねの書き方への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)点・はねをもつ漢字を書こうとしている(④)。
「曲がり」	2	「曲がり」〔教科書P34-35〕 ◎毛筆を使用して、曲がりの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(ウ)〕	【知】毛筆を使用して、曲がりの書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。	【思】毛筆で「元」を書写するなかで、曲がりの書き方を確かめている。	【態】進んで(①)曲がりの書き方への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)曲がりをもつ漢字を書こうとしている(④)。
ことば	1	ことば〔教科書P36-37〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)〕	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】ことわざをなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能を確かめている。	【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までに学習を生かしながら(②)硬筆でことわざをなぞろうとしている(④)。
平がな(丸み)	1	平がな(丸み)〔教科書P38-39〕 ◎毛筆を使用して、平仮名の筆使い(丸み)への理解を深め、筆圧などに注意して書くことができる。〔知技(3)エ(ウ)〕	【知】毛筆を使用して、平仮名の筆使い(丸み)への理解を深め、筆圧などに注意して書いている。	【思】毛筆で「つり」を書写するなかで、平仮名の筆使い(丸み)を確かめている。	【態】進んで(①)平仮名の筆使い(丸み)への理解を深め(③)、学習課題に沿って(②)平仮名を書こうとしている(④)。

第3学年 国語(書写)

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
部分の組み立て方	1	部分の組み立て方 〔教科書P40-41〕 ◎左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書くことができる。〔知技(1)エ、(3)ウ・エ(ア)〕	【知】左右の部分でできている漢字の組み立て方を理解し、形を整えて書いている。	【思】左右の部分でできている漢字を書くなかで、幅を狭くすると字形が整うことを確かめている。	【態】積極的に(①)左右の部分の組み立て方を理解し(③)、学習課題に沿って(②)左右の部分でできている漢字を書くようとしている(④)。
行の中心	1	行の中心〔教科書P42〕 ◎配列(行の中心)に注意して読みやすく書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)〕	【知】配列(行の中心)に注意して読みやすく書いている。	【思】硬筆で「立冬」「東西」をなぞるなかで、文字の中心を見つける目安を確かめている。	【態】進んで(①)配列(行の中心)に注意し(③)、学習課題に沿って(②)言葉をなぞろうとしている(④)。
できているかな		できているかな〔教科書P43〕 ◎筆記具の持ち方を正しくして書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)〕	【知】筆記具の持ち方を正しくして書いている。	【思】自分の筆記具の持ち方を確かめている。	【態】積極的に(①)自分の筆記具の持ち方を確かめ(③)、今までの学習を生かして(②)筆記具の持ち方を正しくして任意の文字を書くようとしている(④)。
書きぞめ	5	書きぞめ 〔教科書P44-47・P61-64〕 ◎今までに学習した知識・技能を生かして書き初めを書くことができる。〔知技(1)ウ・エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)〕	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】書き初めを書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)書き初めを書くようとしている(④)。
三年生のまとめ①②	3	三年生のまとめ①② 〔教科書P48-51〕 ◎第3学年で学習したことを振り返り、今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。〔知技(1)エ、(3)エ(ア)・(イ)・(ウ)〕	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。	【思】毛筆で「水玉」を書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。	【態】進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)自分で決めたためあてに沿った文字を書くようとしている(④)。

第3学年 社会

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学校のまわりのようす	6	学校のまわりの様子について観察や調査活動を通して、調べたことを絵地図や白地図にまとめるとともに、場所による様子の違いや地域の特色やよさを考え、適切に表現する。	①観点に基づいて見学や調査を行ったり、地図や写真資料などの資料を活用したりして必要な情報を集め、学校の周りの様子を理解している。②調べたことを主な地図記号や四方位などを用いて絵地図や白地図にまとめ、学校の周りの特色を理解している。	①場所による違いに着目して問いを見出し、学校の周りの様子について考え、表現している。②見学した場所による違いを適切に表現している。	①学校の周りの様子について予想したり、学習計画を立てたりして、学習問題を追求し、解決しようとしている。
2江戸川区のようす	11	江戸川区の様子について、東京都における区の位置や地形や土地利用、交通の広がり、区役所など主な公共施設などの場所と働き、古くから残る建造物の分布等に着目し、観察・調査したり地図などの資料で調べたりして白地図にまとめ、区の様子や場所による違いを考え、表現することを通して、自分たちの区の様子を大まかに理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追・解決しようとする態度を養う。	①都内における区の位置、区の地形や土地利用、交通の広がり、区役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などについて観察・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、区の様子を理解している。②調べたことを白地図や文などにまとめ、自分たちの区の様子について大まかに理解している。	①都内における区の位置、区の地形や土地利用、交通の広がり、区役所など主な公共施設の場所と働き、古くから残る建造物の分布などに着目して問いを見出し、区の様子について考え、表現している。②土地利用を地形的な条件や社会的な条件と関連付けたり、分布の様子を相互に比較したりして、区の様子や場所による違いを考え、適切に表現している。	①区の様子について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追及し、解決しようとしている。
1 わたしたちのくらしと商店	11	○買い物調べやお店見学などを通して、販売の仕事をしている人々が、消費者の願いに応じて工夫や努力をしており、自分たちの生活を支えていることを理解する。○販売における特色や自分たちの地域が消費生活を通して国内外の他地域とかかわりがあることについて調べ、白地図などにまとめる。	①販売の仕方、他地域との関わりなどについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして販売に携わっている人々の工夫を理解している。②調べたことを白地図や新聞などにまとめ、販売の仕事は消費者の多様な願いを踏まえ、売り上げを高めるよう工夫して行われていることを理解している。	①買い物調べや商店の様子などに着目して問いを見だし、販売に携わる人々の仕事の様子について考え表現している。②消費者の願いと関連づけて販売に携わる人々の工夫を考え表現している。	①地域に見られる販売の仕事について、予想をもとに見学計画を立てたりして、主体的に学習問題を追究し解決しようとしている。
2 わたしたちのくらしと農家の仕事「江戸川区の野菜作り」	11	観察・調査・表現などの学習活動を通して、農家の生産の特色や働く人の工夫や努力、他地域とかかわりなどについて具体的に考え、農家の仕事は消費者の生活を支えていることを理解する。	①仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などについて見学・調査したり、地図などで調べたりして、農家の仕事の様子を理解している。②調べたことを白地図や新聞などにまとめ、農家の仕事は地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解している。	①仕事の種類や産地の分布、仕事の工程などに着目して問いを見出し、生産に携わっている人々の様子について考え、表現している。②農家の仕事と地域の人々の生活との関連を考え、適切に表現している。	①地域にある農家の仕事について、予想や学習計画を立てたりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。
2 わたしたちのくらしと工場の仕事(選択ただし、地元の製紙工場見学予定につき、参考として掲載。)	11	○身近な地域の、工場の仕事の様子について調べ、仕事に携わる人々の工夫や努力を具体的に考え、写真絵コンテに表現することによって、地域の人々の生活と密接なかかわりをもっていることを理解する。○工場の特色や製品の原材料や出荷された製品が、自分たちの地域と国内外の他地域とかかわりがあることについて調べ、白地図などにまとめるなど、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。	①地域の工場について、原材料の仕入れや製品の作り方、国内外の他地域への販売などについて調べ、工場で働く人々の努力や工夫を理解している。②資料や見学などで調べたことを、ワークシートや白地図にまとめ、自分たちの地域が国内外と関わりがあることを理解している。	①原材料から製品への変化に着目して問いを見出し、工場で働く人々の様子について考え表現している。②資料や見学で分かったことを、比較・関連付け、総合などして工場で働く人々の工夫を考えたり、学習したことを基に、地域と自分との関わり方について選択・判断したりして、適切に表現している。	①地域の工場の様子について予想したり、学習計画を立てたりして見通しをもち、主体的に学習問題を解決しようとしている。
1 火事のない町をめざして	9	○火災から人々の安全を守るための工夫や努力について、見学・調査をしたり、資料を活用したりして調べ、火災を防ぐための消防署を中心とした関係機関や諸団体の働きについて表現することを通して、そこに従事する人々や地域の人々が協力していることを理解する。○火災から人々の安全を守るための工夫や努力について、学習問題を主体的に調べ解決しようとするとともに、火事から人々の安全を守るためにできることを考えようとする態度を養う。	①施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。②調べたことを白地図や文などにまとめ、火災から地域の安全を守る働きは、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災の防止に努めていることを理解している。	①施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見出し、関係機関や地域の人々の諸活動について考え、表現している。②火災から地域の人々の安全を守るための働きや人々の協力関係と地域の安全な生活を関連付け、関係機関や地域の人々の相互の関連や従事する人々の働きを考えたり、火災から地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることを選択・判断したりして、適切に表現している。	①火災から地域の人々の安全を守るための働きについて、予想や学習問題を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。②学習したことを基に、火災から地域の安全を守るために自分たちにできることを考えようとしている。

第3学年 社会

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2 事件や事故のない町をめざして	6	○地域の安全を守る働きについて、施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応に着目して、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめ、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連や従事する人々の働きを考え、表現することを通して、警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事故などの防止に努めていることを理解する。○事故から地域の安全を守る働きについて、学習問題を主体的に調べ解決しようとするとともに、地域や自分自身の安全を守るためにできることを考えようとする態度を養う。	①施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などについて見学・調査したり地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、関係機関や地域の人々の諸活動を理解している。②調べたことを白地図や文などにまとめ、事故や事件から地域の安全を守る働きは、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して事件や事故の防止に努めていることを理解している。	①施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応などに着目して、問いを見出し、関係機関や地域の人々の諸活動について考え、表現している。②事件や事故から地域の人々の安全を守るための働きや人々の協力関係と地域の安全な生活を関連付け、関係機関や地域の人々の相互の関連や従事する人々の働きを考えたり、事件や事故から地域や自分自身の安全を守るために自分たちにできることを選択・判断したりして、適切に表現している。	①事件や事故から地域の人々の安全を守るための働きについて、予想や学習問題を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。②学習したことを基に、事件や事故から地域の安全を守るために自分たちにできることを考えようとしている。
江戸川区のうつりかわり	15	江戸川区の様子の移り変わりについて、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目し、聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして年表にまとめ、それらの変化を考え、表現することを通して、江戸川区や人々の生活の様子は時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解する。○江戸川区の移り変わりについて、学習問題を主体的に調べ、解決しようとするとともに、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。	①江戸川区や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。②聞き取り調査をしたり、地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめている。	①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いを基に、江戸川区や人々の生活の様子の変化について、文章で記述したり説明したり話し合ったりしている。②江戸川区の課題を把握し、江戸川区の将来の姿について考え、説明したり、話し合ったりしている。	①江戸川区の様子の移り変わりについて関心をもち、学習問題の見通しをもって主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。②これからの江戸川区の発展に関心をもち、江戸川区の将来の姿にすすんで話し合い、考えようとしている。

第3学年 算数

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
みんなで算数をはじめよう!/ひき算のヒミツ	2	①②算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。	・問題解決の進め方を理解している		・答えが同じになる式のきまりについて、筋道を立てて考えたり表現したりしている。
1. かけ算のきまり	8	○乗法に関して成り立つ性質について理解し、交換法則、結合法則、分配法則などが成り立つことを図や式などを用いて考える力を身につける。また、乗法に関して成り立つ性質に進んで関わり、その過程を振り返り、計算の工夫などに生かせるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ウ)、A(3)ア(ア)(ウ)、A(3)イ(ア)、内(3)(4)】	・乗法の交換法則、結合法則、分配法則など、乗法に関して成り立つ性質を理解している。＜知・技＞	・数量の係に着目し、乗法に関して成り立つ性質を見いだしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・乗法に関して成り立つ性質に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
2. 時こくと時間	6	○時間の単位「秒」について知り、日常生活に必要な時刻や時間を求めることができ、日常生活に生かしている。また、時刻と時間を表したり求めたりすることに進んで関わろうとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア)(イ)、C(2)イ(ア)】	・日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。また、時間の単位「秒」について知り、1分＝60秒の関係を理解している。＜知・技＞	・時間の単位に着目し、時刻や時間の求め方について考察し、日常生活に生かしている。＜思・判・表＞	・時刻と時間に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
3. たし算とひき算	13	○3位数や4位数の加法及び減法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、加法及び減法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)、A(2)イ(ア)、内(2)】	・3位数や4位数の加法及び減法の計算が、2位数などについての基本的な計算をもとにすることができることや、その筆算のしかたについて理解し、加法及び減法の計算が確実にできる。＜知・技＞	・数量の係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・加法及び減法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
4. わり算	10	○除法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、除法について考えることに進んで関わり、除法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(4)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)(オ)、A(4)イ(ア)(イ)】	・除法の意味や式について理解し、除数と商がともに1位数である除法の計算が確実にできる。また、簡単な場合について、除数が1位数で商が2位数の除法の計算のしかたを知っている。＜知・技＞	・数量の係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・除法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
1/2に分けよう	1	①1/2の大きさを方眼のます目の個数に着目して捉えることで、分数についての理解を深める。			・方眼のます目の個数に着目し、1/2の大きさのいろいろな表し方を考えている。
5. 長さ	5	○長さの単位「km」、道のりと距離の意味、及び巻尺について知り、計器を適切に選んで長さを測定する力を身につける。また、長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ)、C(1)イ(ア)】	・長さの単位「km」について知り、単位の関係を理解し、長さについておよその見当をつけ計器を適切に選んで測定することができる。＜知・技＞	・測定するものの特徴に着目し、ものさしでは測りにくいところの長さの測り方を考えている。＜思・判・表＞	・長さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
6. 表とばうグラフ	9	○棒グラフや二次元表について理解し、データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現する力を身につける。また、データを分析することに進んで関わり、その過程を振り返り、グラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(ア)(イ)、D(1)イ(ア)、内(8)】	・棒グラフや二次元表の特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。＜知・技＞	・データを整理する観点に着目し、身のまわりの事象について表やグラフを用いて考察して、見いだしたことを表現している。＜思・判・表＞	・データを分析することに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
7. あまりのあるわり算	8	○あまりのある除法の意味や式について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考えたり、計算の確かめのしかたを考えたりする力を身につける。また、除法について考えることに進んで関わり、除法を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(4)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)、A(4)イ(ア)(イ)】	・あまりのある除法の意味や式について理解し、除数と商がともに1位数である除法の計算が確実にできる。＜知・技＞	・数量の係に着目し、計算の意味や計算のしかたを考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞	・除法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞

第3学年 算数					
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
なみ木道	2	①②木の本数と間の数の関係の問題(植木算)を、図や式などを用いて筋道を立てて考えることができる。			・木の本数と間の数の関係の問題(植木算)を、図や式などを用いて筋道を立てて考えている。
8. 10000より大きい数	8	○万の単位について知り、十進位取り記数法による数の表し方及び10倍、100倍、1000倍、1/10にした大きさの数について理解し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を考える力を身につける。また、整数の表し方に進んで関わり、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア)(イ)(ウ)、A(1)イ(ア)、内(1)】	・万の単位について知り、十進位取り記数法による数の表し方及び10倍、100倍、1000倍、1/10にした大きさの数について理解し、表すことができる。＜知・技＞	・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を考え、日常生活に生かしている。＜思・判・表＞	・数を表すことに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
9. 円と球	9	○円とその中心、半径、直径について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、円に関連して、球についても理解する。また、円や球に進んで関わり、身のまわりのものの形を円や球として捉えるなど、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 B(1)ア(ウ)、B(1)イ(ア)】	・円とその中心、半径、直径について理解し、円を作図したり長さを写し取ったりする道具としてコンパスを用いることができる。また、円に関連して、球についても理解している。＜知・技＞	・円の中心、半径、直径に着目し、構成のしかたを考えるとともに、図形の性質を見だし、身のまわりのものの形を円や球として捉えている。＜思・判・表＞	・円や球に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
かけ算とわり算の図	2	①乗法や除法の数直線の見方や用い方を理解する。	②乗法や除法の数直線のかき方や用い方を理解する。	・乗法、除法の数直線のかき方を理解し、問題場面を数直線に表すことができる。	・乗法と除法の相互関係をもとに、数直線の見方やかき方を考えている。
10. かけ算の筆算	10	○2位数や3位数に1位数をかける乗法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)(イ)、A(3)イ(ア)、内(2)】	・2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、乗法の計算が確実にできる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしったりしている。＜思・判・表＞	・乗法の計算に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
11. 重さ	9	○重さの単位「g、kg」について知り、測定の意味を理解し、単位を適切に選択して重さを測定する力を身につけるとともに、長さ、かさ、重さの単位の関係を統合的に考察する力を身につける。また、重さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 C(1)ア(ア)(イ)、C(1)イ(ア)、内(7)】	・重さの単位「g、kg」について知り、測定の意味と単位の関係を理解し、重さについておよその見当をつけ単位を適切に選択して測定することができる。＜知・技＞	・身のまわりのものの特徴に着目し、単位の関係を統合的に考察している。＜思・判・表＞	・重さを比べたり測定したりすることに進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき、生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
12. 分数	10	○分数の意味と表し方、及び簡単な場合について分数の加法、減法の意味を理解し、分数の大きさを比べたり、計算のしかたを考えたりする力を身につける。また、分数に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(6)ア(ア)(イ)(ウ)、A(6)イ(ア)】	・等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表す数としての分数の意味と表し方、及び分数は単位分数のいくつ分で表せることを理解するとともに、簡単な場合について分数の加法、減法の意味を理解し、分数の大きさを比べたり計算したりすることができる。＜知・技＞	・数のまとまりに着目し、分数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えているとともに、分数を日常生活に生かしている。＜思・判・表＞	・分数に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
13. 三角形	9	○二等辺三角形、正三角形について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につけるとともに、基本的な図形と関連して角について知る。また、図形の特徴を見いだすことに進んで関わり、身のまわりのものの形を二等辺三角形、正三角形として捉えるなど、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ)、B(1)イ(ア)、内(6)】	・二等辺三角形、正三角形について理解し、作図などをとおしてそれらの関係に次第に着目することができる。また、基本的な図形と関連して角について知っている。＜知・技＞	・図形を構成する要素に着目し、構成のしかたを考えるとともに、図形の性質を見だし、身のまわりのものの形を図形として捉えている。＜思・判・表＞	・二等辺三角形、正三角形に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞
14. □を使った式と図	5	○数量の関係を表す式について理解し、未知の数量を□として式に表したり、式と図を関連づけて式をよんだりする力を身につける。また、□を用いた式に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(7)ア(ア)、A(7)イ(ア)】	・数量の関係を表す式について理解し、未知の数量を□として式に表したり、□に数をあてはめて調べたりすることができる。＜知・技＞	・数量の關係に着目し、数量の關係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連づけて式をよんだりしている。＜思・判・表＞	・数量の關係を表す式に進んで関わり、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。＜態度＞

第3学年 算数		単元のまとりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	主体的に学習に取り組む態度
タイルは何まい	1	①正三角形の敷き詰め模様からほかの図形を見だし、その図形をまとりとして捉え、乗法の式を用いて正三角形の枚数を表すことができる。		・規則的に並んだタイルの枚数を工夫して数えることをとおして、図形、数、式の多様な見方を見いだしている。
15. 小数	11	○小数の意味と表し方、及び小数の加法、減法の意味を理解し、小数の大きさを比べたり、計算のしかたを考えたりする力を身につける。また、小数に進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(5)ア(ア)(イ)、A(5)イ(ア)、内(5)】	・端数部分の大きさを表す数としての小数の意味と表し方を理解するとともに、小数の加法、減法の意味を理解し、小数の大きさを比べたり計算したりすることができる。＜知・技＞	・数のまとりに着目し、小数でも数の大きさを比べたり計算したりできるかどうかを考えるとともに、小数を日常生活に生かしている。＜思・判・表＞
まほうじん	1	①魔方陣の空欄にあてはまる数を、筋道を立てて考えることができる。		・提示された条件をもとに、空欄にあてはまる数値の求め方を、式を用いて筋道を立てて考えている。
16. 2けたの数のかけ算	10	○2位数や3位数に2位数をかける乗法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、乗法の計算のしかたを考えることに進んで関わり、その過程を振り返り、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)(イ)、A(3)イ(ア)】	・2位数や3位数に2位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、乗法の計算が確実にできる。＜知・技＞	・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。＜思・判・表＞
ドッジボールのコートをかく	1	①図形の定義や性質、作図のしかたをもとに、校庭にドッジボールのコートをかく方法を理解する。		・図形の定義や性質、作図のしかたを、日常生活の問題解決に生かしている。
17倍の計算	3	○ある数量がもう一方の数量の何倍かを求める場合や、もとにする大きさを求める場合に、除法が用いられることを理解するとともに、図や式などを用いて数量の関係を考察する力を身につける。また、倍の計算に進んで関わり、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(4)ア(ア)(ウ)、A(4)イ(ア)】	・ある数量がもう一方の数量の何倍かを求める場合や、もとにする大きさを求める場合に、除法が用いられることを理解している。＜知・技＞	・ある数量ともう一方の数量との関係に着目し、図や式などを用いて、既習の乗法や除法と関連づけながら演算の意味を考察している。＜思・判・表＞
18. そろばん	3	○そろばんによる数の表し方を理解し、簡単な加法及び減法の計算ができるとともに、そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の計算のしかたを考える力を身につける。また、そろばんに進んで関わり、そのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。 【学習指導要領との関連 A(8)ア(ア)(イ)、A(8)イ(ア)】	・そろばんによる数の表し方を理解し、簡単な加法及び減法の計算ができる。＜知・技＞	・そろばんのしくみに着目し、簡単な加法及び減法の計算のしかたを考えている。＜思・判・表＞
カレンダーを調べよう	1	①規則的に並んだ数のきまりを筋道立てて考え解決することをとおして、論理的な思考力を伸ばす。		・規則的に並んだ数のきまりを筋道を立てて考えている。
算数を使って考えよう	2	①②知識・技能等を活用し、課題解決のための構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。		・表やグラフを用いて表されたデータをよみ取ったり、その根拠についてデータをもとに説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。 ・日常の場面から算数の問題を見だし、長さや円などの学習を活用して解決したり、言葉や図、式などを用いて説明したりするなど、算数の学習を活用して考え表現している。
3年のまとめ	4	①②③④第3学年の学習内容の問題を解決することができる。	・第3学年の学習内容について、知識及び技能を身につけている。	

第3学年 理科		単元のまとまりの評価規準			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
しぜんのかんさつ	4	身の回りの生物を探中で、それらの様子に着目して、それらの様子を比較しながら、生物の特徴を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	生物は、その周辺の環境と関わって生きていることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	生物と環境との関わりについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 生物と環境との関わりについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	生物と環境との関わりについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 生物と環境との関わりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
植物の育ち方①	6	植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	子葉が出た後の植物の育ち方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 植物の体は根、茎及び葉からできていることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	植物の育ち方について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 植物の育ち方について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 植物の体のつくりにについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	身の回りの生物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 身の回りの生物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
こん虫の育ち方	10	昆虫の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の昆虫を比較しながら昆虫の成長のきまりや体のつくりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	昆虫の成長について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 昆虫の体のつくりにについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記述分析〉 成虫の体は頭、胸及び腹からできていることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 昆虫の育ち方には一定の順序があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	昆虫の成長について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 昆虫の体のつくりにについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 昆虫の体のつくりにについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 昆虫の成長について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	身の回りの生物についての事物・事象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 昆虫の成長や体のつくりにについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
植物の育ち方②	1	植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	植物の育ち方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉		

第3学年 理科		単元のまとまりの評価規準			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゴムと風の力のはたらき	7	ゴムと風の力と物の動く様子に着目して、それらと比較しながら、ゴムと風の力の働きを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	ゴムの力の働きについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 ゴムの力は、物を動かすことができること、また、ゴムの力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 風の力は、物を動かすことができること、また、風の力の大きさを変えると、物が動く様子も変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	ゴムの力の働きについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 風の力の働きについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	ゴムの力の働きについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 ゴムの力の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 ゴムと風の力の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 ゴムと風の力の働きについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
音のふしぎ	6	音を出したときの震え方に着目して、音の大きさを変えたときの現象の違いを比較しながら、音の性質について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	音の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 【知・技】 物から音が出るとき、物は震えていること、また、音の大きさが変わるとき物の震え方が変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 物から音が伝わるとき、物は震えていることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	音の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 音の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	音の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 音の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 音の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
植物の育ち方③	2	植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	花が咲いた植物の育ち方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉		
動物のすみか	4	身の回りの動物を探す中で、これらの様子や周辺の環境に着目して、それらと比較しながら、生物と環境との関わりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 ・生物と環境との関わりについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 ・生物は、その周辺の環境と関わって生きていることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 生物と環境との関わりについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 ・生物と環境との関わりについて、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 生物と環境との関わりについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 ・生物と環境との関わりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
花がさいた後	4	植物の成長の過程や体のつくりに着目して、複数の種類の植物を比較しながら植物の成長のきまりを調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 ・花が咲いた後の植物の育ち方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉	【思・判・表】 植物の育ち方について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 植物の育ち方や体のつくりについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

第3学年 理科		単元のまとまりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	主体的に学習に取り組む態度
地面のようすと太陽	9	太陽と地面の様子との関係について、日なたと日陰の地面の様子に着目して、比較しながら調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 ・日陰は太陽の光を遮るとでき、日陰の位置は太陽の位置の変化によって変わること理解している。 〈発言分析・記述分析〉 ・太陽と日陰や影の位置の変化について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 ・地面は太陽によって暖められ、日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気の違いがあることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 ・太陽と日陰や影の位置の変化について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 ・太陽と日陰や影の位置の変化について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 ・太陽と地面の様子との関係について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
太陽の光	7	光を当てたときの明るさや暖かさに着目して、光の強さを変えたときの現象の違いを比較しながら、光の性質について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 ・日光は直進し、集めたり反射させたりできることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 ・光の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 ・物に日光を当てると、物の明るさや暖かさが変わることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 ・光の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 ・光の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉
電気の通り道	9	乾電池と豆電球などのつなぎ方と乾電池につないだ物の様子に着目して、電気を通すときと通さないときのつなぎ方を比較しながら、電気の回路について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 ・電気を通すつなぎ方と通さないつなぎ方があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 ・電気を通すつなぎ方について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 ・電気を通す物と通さない物があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 ・電気の回路について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 ・電気の回路について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉

第3学年 理科

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
じしゃくのふしぎ	10	磁石を身の回りの物に近付けたときの様子に着目して、それらを比較しながら、磁石の性質について調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 磁石の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 磁石の異極は引き合い、同極は退け合うことを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 磁石に近付けると磁石になる物があることを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 磁石の性質について、差異点や共通点を基に問題を見だし、表現する等して問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 磁石の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 磁石の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 磁石の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
ものの重さ	6	物の形や体積に着目して、重さを比較しながら、物の性質を調べる活動を通して、それらについての理解を図り、観察、実験などに関する技能を身に付けるとともに、主に差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養うことができるようにする。	【知・技】 物の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 〈行動観察・記録分析〉 物は、形が変わっても重さは変わらないことを理解している。 〈発言分析・記述分析〉 物は、形が変わっても重さは変わらないことを理解している。 〈発言分析・記述分析〉	【思・判・表】 物の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉 物の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 〈発言分析・記述分析〉	【態度】 物の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 物の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉
おもちゃショーを開こう！	3	ゴムと風の力、音のふしぎ、電気の通り道、じしゃくのふしぎについて、学んだことを、ものづくりに生かすことができるようにする。			【態度】 物の性質、ゴムと風の力の働き、光と音の性質、磁石の性質、電気の回路についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉 物の性質、ゴムと風の力の働き、光と音の性質、磁石の性質、電気の回路について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 〈行動観察・発言分析・記述分析〉

第3学年 音楽

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈導入〉 「小さな世界」 (随時扱い)		(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、変化、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞の持つメッセージを歌にのせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育む。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	旋律、変化、音色などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞の持つメッセージを歌にのせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈スキルアップ〉 「アラム サム サム」 (毎時扱い)		(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 旋律の重なりや、体を動かしながら表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、輪唱に親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けている。	旋律や音楽の縦と横との関係などを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	旋律の重なりや、体を動かしながら表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈スキルアップ〉 (リズムなかま)で 楽しもう！ (毎時扱い)		(1) リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、その生み出すよさや面白さなどと関わらせながら気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) リズムや音の重なりなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) リズムやその重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リズムアンサンブルに親しむ。	○リズムのつなげ方や重ね方の特徴について、その生み出すよさや面白さなどと関わらせながら気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。	リズムや音の重なりなどを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音を音楽へと構成することを通して、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。	リズムやその重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈につぼんのうた みんなのうた〉 「春の小川」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
1 楽ふとドレミ	4	(1) 曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたりハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付ける。 (2) 音の重なりや音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) ハ長調の音階で表現する活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音階や鍵盤楽器に親しむ。	○曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、範唱を聴いたりハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けている。	音の重なりや音階などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	ハ長調の音階で表現する活動に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈につぼんのうた みんなのうた〉 「茶つみ」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、リズム、反復などを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律やリズムなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けている。	旋律、リズム、反復などを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

第3学年 音楽

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
〈こんにちは リコーダー〉	3	(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに関付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。 (2) 音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、リコーダーの演奏のよさを見いだし聴いたりする。 (3) リコーダーで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーに親しむ。	○リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに関付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。	音色や旋律などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、リコーダーの演奏のよさを見いだし聴いたりしている。	リコーダーで様々な表現をすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
2 ひびきのある歌声	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに関付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律、音色、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 旋律の特徴を生かして表現するにに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、歌声や合唱の響きに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに関付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能や、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付けている。	旋律、音色、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	旋律の特徴を生かして表現するに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈音のスケッチ〉 いろいろな声で表げんしょう	2	(1) いろいろな声の響きやそれらの組み合わせの特徴、つなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声の出し方を選択したり声を組み合わせたりして表現する技能や、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。 (2) 声の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。 (3) いろいろな声で表現するに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、生活の中の様々な音や音楽に親しむ。	○いろいろな声の響きやそれらの組み合わせの特徴、つなげ方や重ね方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 ○発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に声の出し方を選択したり声を組み合わせたりして表現する技能や、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。	声の高さや長さ、音色、強弱などを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。	いろいろな声で表現するに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈につぼんのうた みんなのうた〉 「うさぎ」(共通教材)	1	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに関付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに関付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	旋律などを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈めざせ 楽き名人〉 「かえり道」 「レッツゴー ソーラー」 (毎時扱い)		(1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに関付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴きながら演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。 (2) 音色、旋律、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 旋律の感じを生かしてリコーダーで表現するに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、リコーダーに親しむ。	○リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに関付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの音や伴奏を聴きながら演奏する技能や、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。	音色、旋律、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	旋律の感じを生かしてリコーダーで表現するに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

第3学年 音楽

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3 せんりつと音色	3	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。 (2) 音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴く。 (3) 旋律の変化を捉えて演奏を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、バイオリンやチェロの演奏に親しむ。	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。	音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴いている。	旋律の変化を捉えて演奏を聴くことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
4 曲に合った歌い方	2	(1) 曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付ける。 (2) 音色、音楽の縦と横との関係、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	○曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付けている。	音色、音楽の縦と横との関係、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈につぼんのうた みんなのうた〉 「ふじ山」(共通教材)	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。 (2) 旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。 (3) 歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本のうたに親しむ。	○曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 ○思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	旋律やリズムなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞や曲想を生かして表現することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
5 日本と世界の音楽	7	(1) 曲想とリズムなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり体を動かしたりする技能を身に付ける。 (2) 旋律やリズム、拍、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見だして聴いたりする。 (3) 日本や世界の歌を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本や諸外国の遊び歌に親しむ。	曲想とリズム、呼びかけとこたえ、音の重なりなど音楽の構造との関わりに気付いている。 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴き、声を合わせて歌ったり楽器を演奏したり体を動かしたりする技能を身に付けている。	旋律やリズム、拍、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見だして聴いたりしている。	日本や世界の歌を聴いたり、体を動かしながら表現したりすることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈音のスケッチ〉 ばんそうに合わせてせんりつをつくらう「雪のおどり」	2	(1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、伴奏を聴きながら即興的に音を選択したり、リレーしたりして表現する技能を身に付けている。 (2) 音色、音楽の縦と横との関係、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、(どのように歌うか)どのような旋律をつくるかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、(輪唱や)6音をもとにした旋律づくりに親しむ。	曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。 発想を生かした表現をするために必要な、設定された条件に基づいて、伴奏を聴きながら即興的に音を選択したり、リレーしたりして表現する技能を身に付けている。	音色、音楽の縦と横との関係、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うか、どのような旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。	曲想を生かして表現する学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
6 パートの役わり	3	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 呼びかけとこたえや音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 曲想を感じ取って聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	呼びかけとこたえや音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	曲想を感じ取って聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

第3学年 音楽

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
7 音楽のききどころ	2	(1) 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。 (2) 音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。 (3) 楽器の音色や曲の流れを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、オーケストラの響きに親しむ。	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。	音色、旋律、反復、変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。	楽器の音色や曲の流れを捉えて聴く学習に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
8 思いに合った表げん	3	(1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付くとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。 (2) 旋律やリズム、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。 (3) 声部の役割を意識して演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。 思いや意図に合った表現をするために必要な、互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	旋律やリズム、音の重なりなどを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもってしている。	声部の役割を意識して演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
〈音のスケッチ〉 音のひびきや組み合わせを楽しもう	2	(1) 打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付くとともに、発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付ける。 (2) 音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得る。 (3) 音の響きや組合せを生かして表現することに興味をもち、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組み、いろいろな打楽器に親しむ。	打楽器の音の響きやそれらの組合せの特徴について、それらが生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。 発想を生かした表現をするために必要な、設定した条件に基づいて、即興的に音を選択したり組み合わせたりして表現する技能を身に付けている。	音色や強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得ている。	音の響きや組合せを生かして表現することに興味をもち、主体的・協働的に音楽づくりの学習に取り組もうとしている。
〈物語の音楽を楽しもう〉 「ピーターとおおかみ」	2	(1) 曲想と音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付く。 (2) 音色、旋律、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。 (3) 物語を音楽が表していることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育む。	曲想と音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。	音色、旋律、強弱、速度などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。	物語を音楽が表していることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。

第3学年 図工

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
絵の具と水のハーモニー	2	筆、パレット、筆洗の使い方を知って、水の量を工夫して絵を描く。 ○絵の具に混ぜる水の量をえて、描き方を工夫する。 ○描き方を試しながら、表したいことを考える。 ○描き方を試しながら、絵の具で描くことをたのしむ。	○筆の動かし方や水の量を変えて描くことを通して、形や色などの感じがわかっていく。 ○水彩絵の具や用具を使ってできる形や色、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を工夫して表している。	○絵の具遊びで描いた形や色の感じをもとに、好きな形や色、描く心地よさから思いを広げて表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品のよさや面白さ、表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○描く心地よさを味わい、いろいろな描き方を試して絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
ふわふわ空気 つんで つなげて	2	空気を入れたビニル袋の心地よさを味わいながら活動する。 ○空気を入れたビニル袋の積み方やつなぎ方を工夫する。 ○空気を入れたビニル袋で、どんなことができるか考える。 ○ビニル袋のふわふわした心地よさをたのしむ。	○膨らませたビニル袋をたくさんついたり触れたりしながら、形や色、ビニル袋の感触や活動する場所の感じがわかっていく。 ○膨らませたビニル袋の積み方やつなぎ方など、体全体を働かせ、活動を工夫してついている。	○膨らませたビニル袋を積んだりつなげたりしながら活動を思いつき、どのように活動をするか考えている。 ○膨らませたビニル袋の形や色、感触、場所などの感じについて、感じ取ったり味わったりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○膨らませたビニル袋の感触などの心地よさを味わい、表現する学習活動に進んで取り組もうとしている。
生まれかわった なかまたち	4	古着などの形や色の組み合わせを工夫して、生き物などを立体に表す。 ○材料の形や色を生かした組み合わせ方を工夫する。 ○いろいろな布の形や色からつくりたい仲間を考える。 ○集めた材料から仲間をつくることをたのしむ。	○材料に触れたり変化させたりして表す形や色の組み合わせの感じがわかっていく。 ○材料を変化させることを試しながら、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	○材料を変化させて表す形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 ○材料を変化させて表す形や色のよさや美しさ、表し方から自分の見方や感じ方を広げている。	○材料を変化させて表すことに関心をもち、立体に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
カラフルねん土でマイグッツ	4	軽量紙粘土に絵の具を混ぜて、使ってたのしいものをつくる。 ○カラフル粘土を使って、つくり方を工夫する。 ○カラフル粘土と空き容器を組み合わせて、たのしく使えるものを考える。 ○カラフル粘土でつくることをたのしむ。	○カラフル粘土をつくりながら、形や色の感じがわかっていく。 ○これまでの経験を生かし、紙粘土に色をつけて形づくりながら、使ってたのしいものの表し方を工夫して表している。	○カラフル粘土でできる形や色の感じや自分のイメージから、使ってたのしいものを思いつき、どのように表すか考えている。 ○つくったものを生活の中で使うことから、形や色のよさや美しさ、いろいろな表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○つくる喜びを味わい、カラフル粘土で使ってたのしいものをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
かげのへんしん	2	友達と協力して、身のまわりの影を変化させることや影のよさを味わうことをたのしむ。 ○材料の形や組み合わせから影の表し方を工夫する。 ○影の形から、表したいことを考える。 ○友達と協力して、影を変身させることをたのしむ。	○影との関わりを通して、影の形や変化した感じがわかっていく。 ○見つけた影をもとに、影をつけたしたり組み合わせたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してついている。	○影との関わりを通して、影の形や変化した感じなどをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。 ○さまざまな影のよさや面白さを味わい、自分の見方や考え方を広げている。	○友達と協力しながら、影を変化させる学習活動に進んで取り組もうとしている。
光サンドイッチ	4	色セロハンなどをトレーシングペーパーではさみ、光を通すときれいな飾りをつくる。 ○光を通す材料の形や色の組み合わせを工夫する。 ○光を通した材料からつくりたい飾りを考える。 ○光にかざしたときの材料の美しさをたのしむ。	○光を通す材料を扱ったり形を変えたりしながら、光があたるときの材料の形や色などの感じがわかっていく。 ○光や影を意識して、材料の形や色を試したり、つくり方を考えたりして表し方を工夫して表している。	○光を通した材料の形や色の感じや組み合わせから感じたことをもとに表したい飾りを思いつき、どのように表すか考えている。 ○光を通した材料の形や色に着目し、自分や友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○光を通したときの材料や飾りの美しさ味わい、飾りをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
はこの中の世界	4	箱や紙粘土を工夫して使いながら、表したい世界をつくる。 ○箱の形や色、材料の使い方を工夫する。 ○箱の中につくりたい世界を考える。 ○箱の中につくることをたのしむ。	○箱や紙粘土などの材料を扱ったり、形を変えたりすることを通して、材料の形や色などの感じがわかっていく。 ○箱や紙粘土などの材料やはさみなどの用具を適切に扱うとともに、これまでの経験を生かしながら表し方を工夫して表している。	○紙や箱の形から表したい世界を想像して、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品を鑑賞することを通して、材料や表し方の工夫を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○材料を選んだり、表し方を工夫したりして、箱の中の世界をつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
けずってつけて わたたちの形	2	粘土を削ったりつけたりしながら、表したいことを思いつき、立体に表す。 ○粘土の削り方やつけ方を工夫する。 ○粘土を削ったりつけたりして、どんな形ができるか考える。 ○粘土を削って、友達とつくることをたのしむ。	○粘土の削ったりつけたりする行為を通して、粘土でできる形の感じがわかっていく。 ○手や指、道具を使い、粘土の表し方を工夫して表している。	○削ったりつけたりしながら、どんな形にしたいか、どのように表すか考えている。 ○いっしょにつけている友達の作品や、他のグループの作品からよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○つくりだす喜びを味わい、削ったりつけたりして立体に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
すきな色で すてきな花を	2	身のまわりにある花に注目し、感じたことをもとに、好きな色の絵の具で描く。 ○色の組み合わせ方や筆の使い方を工夫する。 ○見つけた花の形や色をもとに、表したい感じを考える。 ○好きな色の絵の具をたっぷりつけて描くことをたのしむ。	○好きな色の絵の具を選び、身のまわりにある花を絵に表すことを通して、表れる形や色などの感じがわかっていく。 ○表したい感じに合わせて、絵の具の色の組み合わせや、筆の動かし方を工夫して表している。	○花の形や色、匂いなど、感じたことをもとに、自分の表したい花の形や色を見つけ、どのように表すか考えている。 ○絵の具の色の組み合わせ方や筆の動かし方の工夫によって表れる形や色などのよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○描く心地よさを味わい、好きな色で花を絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。

第3学年 図工

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
にじんで広がるものがたり	4	白いクレヨンやバスの形を生かし、絵の具をにじませた世界を描く。 ○にじみでできる形や色の組み合わせを工夫する。 ○にじみでできた形や色からお話を考える。 ○にじみで表すことをたのしむ。	○クレヨンやバスで描いた形の中に絵の具をたらしにじみをつくりながら、形や色などの感じがわかっていく。 ○にじみでできる形や色やそれらの組み合わせをいろいろ試して、表し方を工夫して表している。	○にじみでできた形や色の感じから自分のイメージをもち、表したいことやお話を思いつき、どのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品を見て、よさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○にじみを生かして自分の世界を表す学習活動に進んで取り組もうとしている。
ようこそ！ アミアミワールド	2	網を使って場所を生かした活動をする。 ○場所に合った網の使い方を考える。 ○網をいろいろな場所に引っかけることから、たのしい活動を考える。 ○網を使って、友達と協力して活動する。	○網に触れたり、場所に関わったりしながら、その形や色などの感じがわかっていく。 ○網を広げたり、ねじったり、くんだり、結んだりして手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつづけている。	○大きな網をいろいろな場所にかけることからイメージを広げ、活動を思いつき、どのように活動するか考えている。 ○自分や友達の活動のよさや面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○友達と協力しながら、網を使った学習活動に進んで取り組もうとしている。
このカタチ へんしんすると	2	同じ形の表と裏で絵が変身するクイズをつくって友達とたのしむ。 ○表と裏で絵が変身するように形を工夫する。 ○見方によって違うものに見えるものを考える。 ○友達の作品のよさに気づき、つくった作品で互いにクイズをたのしむ。	○表と裏で絵が変身するクイズを通して、同じ形でも見る人によって違って見えるおもしろさに気づき、形や色の感じがわかっていく。 ○表したいクイズの絵に合わせて、描き方を工夫して表している。	○見方を変えることから描きたい絵の裏の絵を思いつき、どのように表すか考えている。 ○クイズを通して、友達の作品の表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○友達のアイデアや作品のよさに気づき、つくった作品で互いにクイズをたのしむ学習活動に進んで取り組もうとしている。
みんなでつくろう ねん土ランド	2	友達と協力して、たのしい「ねん土ランド」をつくる。 ○粘土でできることを生かして、立体的な表し方を工夫する。 ○どんなねん土ランドにしたいのか考える。 ○友達とアイデアを出し合いながら、つくることをたのしむ。	○友達とアイデアを出し合いながら、つくることをたのしむ。 ○握る、ひねる、積み上げる、つなげるなど、手のさまざまな部分を使い、粘土の表し方を工夫して表している。	○粘土の感触や動きをかけてできた形などからイメージを広げ、表したい「ねん土ランド」を思いつき、どのように表すか考えている。 ○つくりながら自分や友達の表し方のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や考え方を広げている。	○自他の感覚やイメージを共有しながら、友達と協力し、粘土でつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
ためしてあそんでマグネット	4	磁石と身近な材料で、磁石の動きを生かしたおもちゃをつくる。 ○動きの感じに合わせて、形や色を工夫する。 ○動きを試しながらつくりたいものを見つめる。 ○磁石の力を感じて、たのしみながらつくる。	○磁石の動きをもとに箱や色紙など身辺材料を組み合わせながら、形や色などの組み合わせの感じや動きの特徴がわかっていく。 ○箱や色紙などの材料や用具を適切に扱うとともに、手や体全体を十分に働かせ、自分の表したいおもちゃに合わせて表し方を工夫して表している。	○箱や色紙、身辺材料などの組み合わせ方や磁石の特徴から感じたこと、想像したことから表したいことを見つけ、動きや形や色などを生かしながらどのように表すか考えている。 ○自分や友達の作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	○つくりだす喜びを味わい、磁石の動きを生かしたおもちゃをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。
ふしぎな乗りもの	4	身近なものがどんな乗り物になったら面白いと考えて、絵に表す。 ○乗り物の形や色などの描き方を工夫する。 ○不思議な乗り物やお話を考える。 ○不思議な乗り物を描くことをたのしむ。	○不思議な乗り物を絵に表すことを通して、身近なものの形や色などの感じがわかっていく。 ○不思議な乗り物の形や色を、自分の思いに合わせて、描き方を工夫して表している。	○身近なものからイメージを広げ、思いついた不思議な乗り物やお話を考えている。 ○形や色、その組み合わせや構成のよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	○想像を膨らませることに関心をもち、不思議な乗り物を描く学習活動に進んで取り組もうとしている。
トントんくぎ打ち コンコンビー玉	4	板材に釘を打って、ビー玉が転がるコースターをつくって遊ぶ。 ○釘の打ち方や材料のつけ方を工夫する。 ○ビー玉が転がるたのしいコースを考える。 ○釘打ちの心地良さを味わいながら、みんなでコースづくりをたのしむ。	○金づちを使って釘を打ったり、材料を打ちつけたりしながら、形や色などの感じがわかっていく。 ○釘や金づちを適切に扱い、釘の打ち方や材料のつけ方を工夫して表している。	○ビー玉が転がるコースを考えながら、つくりたいものの発想を広げ、釘の位置を試したり、ビー玉の動きを確かめたりしながら、転がるとたのしい仕組みを考えている。 ○自分や友達がつくったコースで遊び、それぞれのよさや面白さを感じ取り、自分の見方や考え方を広げている。	○釘を打つ感触を味わい、友達と協力して、コースをつくったりつくったコースで遊んだりする学習活動に進んで取り組もうとしている。
えっへん！ わたしが主人公です	2	絵画に描かれた架空の生き物の中から気に入った生き物を選び、感じたことや、想像したことを描き、考えたことを友達と話し合う。 ○作品に描かれた生き物を見て、形や線、色の特徴に気づく。 ○作品に描かれた生き物から想像を広げてお話を考える。	○ジョアン・ミロの「耕作地」に描かれた架空の生き物を主人公にして絵を描きながら、形や線、色などの感じがわかっていく。 ○気に入った架空の生き物の表し方を工夫して表している。	○気に入った架空の生き物の形や線、色などの感じをもとに、自分なりのイメージをもってお話を考えたり、絵を描いたりしている。 ○気づいたことや想像したことについて、友達と話し合い、自分の見方や考え方を広げている。	○想像をしたことを描いたり、友達と互いの考えを話し合ったりする学習活動に進んで取り組もうとしている。

第3学年 体育					
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度		
体ほぐしの運動	3	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や友達の心と体の状態に気付いたり、みんなで豊かに関わり合ったりすることができる。	・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・体ほぐしの運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
多様な動きをつくる運動	5	・体のバランスを取る動き、体を移動する動き、用具を使った動き、力試しの動きを身に付け、それらを工夫したり、組み合わせたりする。	・多様な動きをつくる運動の行い方がわかる。 (ア)体のバランスをとる運動 姿勢や方向、人数を変えて、回る、寝転ぶ、起きる、座る、立つ、渡るなどの動きやバランスを保つ動きで構成される運動を通して、体のバランスをとる動きを身に付けることができる。 (イ)体を移動する運動 姿勢、速さ、リズム、方向などを変えて、這う、歩く、走る、跳ぶ、はねる、登る、下りるなどの動きで構成される運動や、一定の速さでのかけ足などの運動を通して、体を移動する動きを身に付けることができる。 (ウ)用具を操作する運動 用具をつかむ、持つ、降ろす、回す、転がす、くぐる、運ぶ、投げる、捕る、跳ぶ、用具に乗る、跳び越すなどの動きで構成される運動を通して、巧みに用具を操作する動きを身に付けることができる。 (エ)力試しの運動 人や物を押す、引く、運ぶ、支える、ぶら下がるなどの動きや、力比べをするなどの動きで構成される運動の行い方を知り、力を出し切ったり力の入れ方を加減したりする動きができる。 (オ)基本的な動きを組み合わせる運動 バランスをとりながら移動する、用具を操作しながら移動するなど二つ以上の動きを同時に行ったり、連続して行ったりする運動を通して、基本的な動きの組み合わせた動きを身に付けることができる。	・自己の課題を見付け、その課題を解決するために、様々な運動の行い方を選んだり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・新たな運動の行い方を考えたり、友達と動きを合わせたりして、自分の力に合った動き方を選んでいる。 ・基本的な動きを身に付けるための運動のポイントや行い方、心と体の変化について、気づいたり考えたりしたことを友達に伝えている。	・多様な動きをつくる運動に進んで取り組んでいる。 ・きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。
マット運動	6	・自分の力に合った技を身に付け、できる技の繰り返しや、組み合わせ技に挑戦する。	・マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った回転系(前転など)や巧技系(壁倒立など)の基本的な技ができる。 ・基本的な技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ○前転 ○後転 ○開脚後転 ○補助倒立ブリッジ ○側方倒立回転 ○壁倒立 ○壁登り倒立 ○頭倒立	・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・マット運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・マットなどの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。
鉄棒運動	6	・鉄棒の技に挑戦したり、技を組み合わせたりして楽しむ。	・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った支持系の基本的な技ができる。 ・基本的な技を繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ○前回り下り ○かかえ込み前回り ○転向前下り ○膝掛け振り上がり ○前方片膝掛け回転 ○補助逆上がり ○かかえ込み後ろ回り ○後方片膝掛け回転	・学習カード、掲示物などを用いて、自分の課題を見付けている。 ・技のできばえを振り返って、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題を解決するために、自分の力に合った練習の場を選んでいる。 ・見付けたポイントや友達の技のできばえなど、課題解決のために考えたことを友達に伝えている。	・鉄棒運動の基本的な技に進んで取り組んでいる。 ・鉄棒などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合っている。 ・器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。

第3学年 体育			
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準
			知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
跳び箱運動	8	・自分の力に合った「基本の技」を身に付けたり、「発展技」に挑戦したりする。	・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った切り返し系(開脚跳びなど)や回転系(台上前転など)の基本的な技ができる。 ・基本的な技に十分に組み込んだ上で、それらの発展技に取り組むことができる。 ○開脚跳び(発展技:かかえ込み跳び) ○台上前転 ○首はね跳び
かけっこ・リレー	6	・いろいろなくねくねコースで競走したり、決まりを決めてリレーをしたりする。	・かけっこ・リレーの行い方がわかる。 ・スタート姿勢から素早く走り出すことができる。 ・真っ直ぐ前を見て、腕を前後に大きく振って走ることができる。 ・走りながら、タイミングよくバトンの受渡しができる。 ・折り返すときにコーナーの内側に体を軽く傾けて走ることができる。 ・最後まで全力で走ることができる。
小型ハードル走	6	小型ハードルをいろいろなリズムで走り越したり、自分に合ったリズムで走り越したりして、競走する。	・小型ハードル走の行い方がわかる。 ・インターバルの距離やいろいろな小型ハードルの高さに応じて調子よく小型ハードルを走り越すことができる。 ・一定の間隔に並べられた小型ハードルを一定のリズム(3歩のリズム)で走り越すことができる。
走り幅跳び	6	・短い助走から強く踏み切って遠くに跳び、きまりを工夫して記録に挑戦したり、跳び比べをしたりする。	・走り幅跳びの行い方がわかる。 ・5～7歩程度のリズムカルな助走から踏み切り足を決めて前方に強く踏み切り、遠くへ跳ぶことができる。 ・膝を柔らかく曲げて、両足で着地することができる。

第3学年 体育

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
水泳運動	8	・いろいろな浮き方やもぐり方、泳ぎ方を する。	【浮いて進む運動】 ・浮いて進む運動の行い方がわかる。 ・友達に手を引かれたり足を押されたりした勢いを利用して、伏し浮きの姿勢で続けて進むことができる。 ・プールの底や壁を両足で蹴った勢いを利用して進むけ伸びができる。 ・補助具を用いて浮き、呼吸をしながら手や足を使って進む初歩的な泳ぎができる。 ・水面に顔を付け、手や足をゆっくりと動かし進むなど、呼吸を伴わない初歩的な泳ぎをすることができる。 ・ばた足泳ぎやかえる足泳ぎなど、頭の上に腕を伸ばした姿勢で、手や足をバランスよく動かし、呼吸をしながら進むことができる。 【もぐる・深く運動】 ・もぐる・深く運動の行い方がわかる。 ・呼吸を調整しながらプールの底にタッチ、股くぐり、変身もぐりなどのいろいろなもぐり方ができる。 ・補助具を使って浮力を生かしたいいろいろな浮き方をすることができる。 ・大きく息を吸い込み全身の力を抜いて、背浮き、だるま浮き、変身浮きなどのいろいろな姿勢で浮くことができる。 ・だるま浮きやボビングなどを活用した簡単な浮き沈みができる。	・自分で立てためあてに挑戦し、自分の課題を見付けている。 ・補助具を活用したり友達に補助してもらったりするなど、自分の力に合った練習の仕方を選んでいる。 ・友達のよい動きや課題の解決のための動きのポイントを見付け、言葉や動作で伝えている。 ・自分で試したいいろいろなもぐり方や浮き方を友達に伝えたり、互いのよい動きの真似をしたりしている。	・水泳運動に進んで取り組んでいる。 ・け伸びをする際に順番にスタートしたり、決まった場所で友達と練習したりするなど、きまりを守り、誰とも仲よく励まし合っている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・互いの動きを見合ったり補助を合ったりするときに見付けた動きのよさや課題について伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・準備運動や整理運動を正しく行う、パディで互いを確認しながら活動する、シャワーを浴びてからゆっくりと水の中に入る、プールに飛び込まないなど、水泳運動の心得を守って安全を確かめている。
ゴール型(タグラグビー)	7	・相手をかいたり、パスをしたりしながら、 攻め方を工夫してタグラグビーをする。	・タグラグビーの行い方がわかる。 ・味方にボールを手渡ししたり、パスを出したり、ゴールにボールをトライすることができる。 ・ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。	・誰もが楽しくタグラグビーに参加できるように、プレイヤーの人数やコートの広さ、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・タグを取ったり、トライするために、簡単な作戦を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを、動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・タグラグビーに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。
ベースボール型(ラケットベースボール)	6	・ボールを打って得点したり、ボールを取って アウトにしたりして、ラケットベースボール をする。	・ラケットベースボールの行い方がわかる。 ・ボールをフェアグラウンド内に打つことができる。 ・投げる手と反対の足を一歩前に踏み出してボールを投げるができる。 ・向かってくるボールの正面に移動し、ボールを捕ることができる。 ・ベースに向かって全力で走り、かけ抜けることができる。	・誰もが楽しくラケットベースボールに参加できるように、プレイヤーの人数や得点の仕方などの規則を工夫している。 ・攻め方や守り方の簡単な作戦を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・ラケットベースボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。
ネット型(フロアボール)	6	・ボールをはじいたり打ったりしながら、攻め 方を工夫して、フロアボールをする。	・フロアボールの行い方がわかる。 ・いろいろな高さのボールを片手もしくは両手を使ってはじいたり、打ちつけたりすることができる。 ・相手コートから転がってきたボールを片手もしくは両手を使って相手コートに返球することができる。 ・ボールの方向に体を向けたり、ボールを操作しやすい位置に移動したりすることができる。	・誰もが楽しくフロアボールに参加できるように、プレイヤーの人数や得点の仕方などの規則を工夫している。 ・得点を多くあげるために、簡単な作戦を話し合って決めたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・フロアボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

第3学年 体育			単元の名とまりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ゴール型(セストボール)	8	・パスやシュートをしながら、攻め方を工夫してセストボールをする。	・セストボールの行い方がわかる。 ・ボールを持ったときにゴールに体を向けることができる。 ・味方にボールを手渡ししたり、パスを出したり、シュートをしたりすることができる。 ・ボール保持者と自分の間に守る者がいない空間に移動することができる。	・誰もが楽しくセストボールに参加できるように、プレイヤーの人数や得点の仕方、プレイ上の緩和や制限などの規則を工夫している。 ・得点を多くあげるために、シュートにつながる簡単な作戦を話し合っ決めてたり、選んだりしている。 ・課題の解決のために考えたことを動作や言葉、絵図などで友達に伝えている。	・セストボールに進んで取り組んでいる。 ・規則を守り、誰とも仲よくしている。 ・使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見付けた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めている。 ・使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。
表現・忍者参上！	6	・忍者の忍びや、対決などの特徴を捉えて、表したい感じを踊る。	・表現「忍者参上！」の行い方がわかる。 ・表現「忍者参上！」ならではのふさわしい動き(忍び込む、戦うなど)で特徴を捉えたりすることができる。 ・表現「忍者参上！」の動きの誇張や変化の付け方として、表したい感じを、跳ぶ・転がる、素早く動く・急に止まるなど動きに差を付けて誇張したり、「追いつ・追われつ」や「戦い・対決」などの2人組やグループで対応・対立する動きで変化を付けたりして、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 ・ひと流れの動きへの工夫の仕方としては、表したい感じを中心に、感じの異なる動きや急変する場面など変化のある動きをつなげてメリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きに工夫して感じを込めて踊ることができる。	・表現「忍者参上！」の動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 ・表現「忍者参上！」におけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために考えたことや友達のよい動きを伝えている。	・表現「忍者参上！」に進んで取り組んでいる。 ・表現「忍者参上！」に取り組む際に、誰とも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。
リズムダンス	6	・ロックやサンバのリズムに乗って弾んで踊ったり、動きに変化をつけたり、友達と関わり合っって踊ったりする	・リズムダンスの行い方がわかる。 ・ロックサンバのリズムダンスにおいて、変化をつけた動きを入れながら、いくつかの曲を即興的に踊ることができる。 ・2～3人組でロックやサンバのリズムの特徴を捉えた動きや変化をつけた動きで踊ることができる。	・ロックやサンバのリズムの動きのポイントがわかり、楽しく踊るための自分の課題を見付けている。 ・ロックやサンバのリズムにおけるよい動きがわかり、友達のよい動きを自分の動きに取り入れている。 ・友達とお互いの動きを見合い、課題の解決のために工夫して考えた動きと一緒に踊るなどして伝えている。	・リズムダンスに進んで取り組んでいる。 ・リズムダンスに取り組む際に、誰とも仲よくしている。 ・場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしている。 ・友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めている。 ・友達とぶつからないように周りの安全を確かめて踊っている。
健康って、なに？	2	健康って、なに？ ・心や体の調子がよい状態が健康だということ、健康は自分自身の生活や周囲の環境が要因になって変化することを理解できるようにする。 ・健康でいるためには何が大切なのかを考え、書いたり伝えたりできるようにする。 ・健康の状態や健康のよさについて資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。	・健康の状態には、気持ちや意欲的であること、元気なこと、具合の悪いところがないことなどの心や体の調子がよい状態があることを理解している。 ・健康の状態には、1日の生活の仕方などの主体の要因や身の回りの環境の要因が関わっていることを理解している。 ・心や体が健康であることは、人と関わりながら明るく充実した毎日の生活を送れることにつながり、健康がかけがえのないものであると理解している。	・1日の生活の仕方などの主体の要因や身の回りの環境の要因から健康に関わる課題を見付けている。 ・こうしているから健康でいられるということを、自分の体と回りの環境に分けて考え、説明している。 ・健康な心身の状態や、健康のよさについて考え、説明している。 ・健康に過ごすために考えた方法を学習カードなどに書いたり、発表したりして伝え合っている。	・健康や、自分の1日の生活の仕方に関心を示し、規則正しい生活の仕方について、自分の日常生活と照らし合わせて注意を向けている。 ・自分が健康でいるために毎日の運動、運動、休養・睡眠に関心を示し、自分の毎日の生活をよりよくしようとしている。
健康な一日の生活	2	・毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養・睡眠の調和のとれた生活を続けることが大切であると理解できるようにする。 ・健康な生活に関わる課題を見つけ、その解決に向けて考え、書いたり伝えたりできるようにする。 ・自分の1日の生活を振り返り、健康増進のために進んで学習に取り組むことができるようにする。	・健康の保持増進には、1日の生活の仕方が深く関わっており、1日の生活のリズムに合わせて、運動、食事、休養及び睡眠をとることが必要であることを理解している。 ・日常生活に運動を取り入れることの大切さについて理解している。	・運動、食事、休養・睡眠などの生活のリズムが崩れるとどうなるかを考え、説明している。 ・運動、食事、休養及び睡眠について学習したこと、自分の生活とを比べて、自分の生活リズムを整えるための方法を考え、伝え合っている。	・毎日の運動、食事、休養・睡眠に関心を示し、生活の仕方に気をつけて自分に合った生活リズムを進んでつこうとしている。

第3学年 体育		単元のまとまりの評価規準		
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	知識・技能	思考・判断・表現
体の清潔	2	・毎日を健康に過ごすには、体や衣服、ハンカチなどを清潔に保つことが必要であることを理解できるようにする。 ・学習したことや自分の生活を振り返り、体の清潔について考え、書いたり伝えたりする。 ・体や衣服などの清潔に関心をもち、進んで学習活動に取り組むことができるようにする。	・健康の保持増進には、手や足などの清潔、ハンカチや衣服などの清潔を保つことが必要であると理解している。	・手を洗う必要性について考え、発表したりして伝え合っている。 ・自分の生活を振り返り、手洗いするとよい場面について考え、伝え合っている。 ・ハンカチや衣服を毎日取り換える理由について考え、発表している。
身の回りの環境	2	・健康の保持増進には、生活環境が関わっており、部屋の明るさの調節や換気など、生活環境を整えることが必要であることを理解できるようにする。 ・部屋の明るさの調節や換気などの学習したことと、自分の生活とを比べたり関連付けたりして、生活環境を整えるための方法を考えることができるようにする。 ・自分の生活を見直すことを通して、生活環境を整えるために自分でできることに気づかせ、実践する意欲を持つことができるようにする。	・健康の保持増進には、生活環境が関わっており、部屋の明るさの調節や換気などの生活環境を整えることが必要であると理解している。	・暗い部屋でのものの見え方について考え、説明している。 ・窓を閉め切った室内にいと部屋の空気はどうなるかを考え、説明している。 ・部屋の明るさの調節や換気などの観点から、自分の生活で見直すべき課題を見付け、解決方法を伝えている。

第3学年 特別活動

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級のめあてを決めよう	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
自分のめあてを決めよう	1	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
★運動会を成功させよう	3	運動会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	運動会を通して成長する上での課題を見いだし、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	運動会を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	運動会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりしている。
雨の日の過ごし方	3	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常の生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健康で安全な生活の仕方を身に付けている。	安全に日常生活をおくる上での課題に気付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
1学期はどうでしたか (夏休みの計画を立てよう)	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
2学期のめあてを決めよう (夏休みを振り返ろう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
★篠三まつりを成功させよう	3	篠三まつりを通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	篠三まつりを通して成長する上での課題を見いだし、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	篠三まつりを通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	篠三まつりに向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりしている。
★学習発表会を成功させよう	6	学習発表会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	学習発表会を通して成長する上での課題を見いだし、課題の改善に取り組むことの意義を理解している。	学習発表会を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもとに、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	学習発表会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりしている。
2学期のめあてを振り返ろう (楽しい冬休みにしよう)	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
3学期のめあてを決めよう (冬休みを振り返ろう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
寒さに負けず元気に過ごそう	2	天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	安全に日常の生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、健康で安全な生活の仕方を身に付けている。	安全に日常生活をおくる上での課題に気付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組もうとしている。
クラブ活動を見学しよう	1	クラブ活動における自己の役割を自覚して、協働することの意義を理解し、学級生活を楽しく豊かにするために必要となることについて主体的に考えて行動する。	自己の役割を自覚し、自己の良さを生かしながら、学級生活を楽しく豊かにするために必要な知識や行動の仕方を理解している。	よりよいクラブ活動にするための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、創意工夫を発揮したり、他者と協力したりして実践している。	学級生活を楽しく豊かにするために、それぞれの係に応じた計画を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して、主体的に行動しようとしている。
もうすぐ4年生 (楽しい春休みにしよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。次の学年への意識を高めようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見いだし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

第3学年 外国語活動

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit1 Hello! あいさつをして友だちになろう	2	○ 世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。 ○ 名前を言って挨拶をし合う。 ○ 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って挨拶を交わそうとする。	○ 世界にはさまざまな言語があることに気付くとともに、挨拶や名前の言い方に慣れ親しんでいる。	○ 名前を言って挨拶をし合っている。	○ 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って挨拶を交わそうとしている。
Unit2 How are you? ごきげんいかが？	2	○ 表情やジェスチャーの大切さに気付き、感情や状態を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○ 表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をし合う。 ○ 表情やジェスチャーを付けて相手に伝わるように工夫しながら、挨拶をしようとする。	○ 表情やジェスチャーの大切さに気付き、感情や状態を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	○ 表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をし合っている。	○ 表情やジェスチャーを付けて相手に伝わるように工夫しながら、挨拶をしようとしている。
Unit3 How many? 数えてあそぼう	4	○ 日本と外国の数の数え方の違いから、多様な考え方があることに気付く。1から20までの数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。 ○ 数について尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○ 相手に伝わるように工夫しながら、数を尋ねたり答えたりしようとする。	○ 日本と外国の数の数え方の違いから、多様な考え方があることに気付く。1から20までの数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しんでいる。	○ 数について尋ねたり答えたりして伝え合っている。	○ 相手に伝わるように工夫しながら、数を尋ねたり答えたりしようとしている。
Unit4 I like blue. 好きなものをつたえよう	4	○ 多様な考え方があることや、音声やリズムについて外来語を通して日本語と英語の違いに気付き、色の言い方や、好みを表したり好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○ 自分の好みを伝え合う。 ○ 相手に伝わるように工夫しながら、自分の好みを紹介しようとする。	○ 多様な考え方があることや、音声やリズムについて外来語を通して日本語と英語の違いに気付き、色の言い方や、好みを表したり好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	○ 自分の好みを伝え合っている。	○ 相手に伝わるように工夫しながら、自分の好みを紹介しようとしている。
Unit5 What do you like? 何が好き？	4	○ 日本語と英語の音声の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○ 何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○ 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。	○ 日本語と英語の音声の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	○ 何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合っている。	○ 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとしている。
Unit6 ALPHABET アルファベットとなかよし	4	○ 身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付く。活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。 ○ 自分の姓名の頭文字を伝え合う。 ○ 相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えようとする。	○ 身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付く。活字体の大文字とその読み方に慣れ親しんでいる。	○ 自分の姓名の頭文字を伝え合っている。	○ 相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えようとしている。
Unit7 This is for you. カードをおくろう	5	○ 日本語と英語の音声の違いに気付き、形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○ 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。 ○ 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとする。	○ 日本語と英語の音声の違いに気付き、形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	○ 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合っている。	○ 相手に伝わるように工夫しながら、自分の作品を紹介しようとしている。
Unit8 What's this? これなあに？	5	○ 外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○ クイズを出したり答えたりし合う。 ○ 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。	○ 外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	○ クイズを出したり答えたりし合っている。	○ 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとしている。
Unit9 Who are you? きみはだれ？	5	○ 日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付き、誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ○ 絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容が分かる。 ○ 絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、相手に伝わるように台詞をまねて言おうとする。	○ 日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付き、誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。	○ 絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容が分かる。	○ 絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、相手に伝わるように台詞をまねて言おうとしている。

第3学年 総合的な学習の時間

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
友だち学級 (1年生を迎える会でお祝いしよう・篠三祭りを成功させよう・はこべ学級との交流・6年生を送る会で感謝の思いを伝えよう)	12	○1年生の入学や6年生の卒業を祝い、全校で楽しめる発表を考えて活動する。 ○今まで学習したことや得意なことを活かしたコーナーを計画し、工夫して活動する。	○相手の身になって考え、行動できる大切さを理解している。	○今まで学習したことを活かして、表現しようとしている。	○はこべ学級の友達、1年生や6年生など異学年との交流を通して、自分の生活についてじっくり考え、自分に何ができるかを考えてすすんで関わろうとしている。
江戸川探検隊！ (篠田堀探検隊・小松菜に夢中・篠原風鈴見学)	23	○地域の動植物や歴史、特産品などについて理解を深め、調べてまとめる。	○調べ学習を通して、地域のよいところについて理解している。	○調べ学習で得た情報を取捨選択し、まとめ発表している。	○自分が調べてみたいところを見つけ、目的意識をもって活動している。

第3学年 読書科

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
本の世界を楽しもう 俳句の本を読もう 調べる名人になろう	12	○探したい本がある場所が分かる。 ○図書資料の探し方が分かり、2つ以上の資料を比べて読むことができる。 ○お気に入りの俳句を選んだリーフレットを作ることができる。	○百科事典・図鑑の目次や索引などの仕組みを理解している。 ○自分で選んだ本を読み、必要な情報を書き抜いたり、短い言葉や分で表している。	○いろいろな俳句の本を読み、自分の好きな俳句を集めたパンフレットを作り、クラスの人々に伝えている。	○俳句の本を進んで読み、自分の好きな俳句をパンフレットにまとめようとしている。 ○すすんで百科事典や図鑑などを使って調べようとしている。
スーザン・パーレイの本を読もう 「生き物のすみかを調べよう」	15	○調べたい生き物を決め、その特徴を図鑑で調べてわかったこと、発見したこと、思ったことなどにまとめて発表することができる。	○目的に応じた資料や本を探し、どのような情報を抜き出し、短い言葉や分で表している。	○生き物について調べたことを自分の感想を入れて、画用紙にまとめている。	○疑問の解決のために探した生き物の本を進んで読もうとしている。 ○すすんで疑問を見つけ、主体的に学んでいこうとしている。
「昔の道具について調べよう」	8	○調べたい昔の道具を決め、図鑑などで調べてわかったことや気付いたことなどをまとめて発表することができる。	○目的に応じた資料や本を読み、目的に応じて必要な情報を抜き出し、記録している。	○調べたことや自分の考えを分かりやすくまとめ、表現している。	○すすんで本を読み、調べたことを紹介しようとしている。